

都市計画マスタープラン・ 立地適正化計画について

第2回 北広島町都市計画審議会

目次

1. 第1回都市計画審議会の振り返り・主な意見
- 2. 住民アンケート（速報）**
3. 全体構想（基本理念・基本目標・将来都市構造）
4. 全体構想（まちづくりの方針）

1. 今回の内容（第1回都市計画審議会からの更新点）

■第1回都市計画審議会からの更新点

【前回】第1回都市計画審議会

⇒ 「現況＋上位関連計画」を踏まえて課題を整理

まち全体（マクロ）

まち全体の観点から、現状及び将来見通し他都市との比較を通じた分析等を行った

地域別（ミクロ）

地域に着目して、現状及び将来見通し等の分析を行う

2. 北広島町の現況	
視点ごとの現況（一覧）	
視点ごとの捉えるべきまちの『現況一覧』 ① 中核都市に人口集中・少子高齢化が顕著化する予期 ② 人口の半数以上が千代田地域に属し、また地域によって年齢構成や就業状況が異なる ③ 人口密度が低いエリアが分散 ④ 広域圏全域より、産業の就業率が人口当たり総生産額が高い ⑤ 人口当たりの総生産額が高いが、北広島町は生産性が高い ⑥ 北広島町は人口増加率、人口増加率が低い ⑦ 住宅地供給が不足している ⑧ 住宅地供給が不足している ⑨ 住宅地供給が不足している ⑩ 住宅地供給が不足している	⑪ 町全体で人口減少が減少 ⑫ 町全体で人口減少だが、都市計画区域の一部地域で人口増 ⑬ 北広島町への転入転出が出生転入を上回っている ⑭ 町全体が中心だが、就業率、事業所数、年間商品総額が低い ⑮ 町全体で人口増加率、人口増加率が低い ⑯ 町全体で人口増加率、人口増加率が低い ⑰ 町全体で人口増加率、人口増加率が低い ⑱ 町全体で人口増加率、人口増加率が低い
① 住宅地供給が不足している ② 住宅地供給が不足している ③ 住宅地供給が不足している ④ 住宅地供給が不足している ⑤ 住宅地供給が不足している ⑥ 住宅地供給が不足している ⑦ 住宅地供給が不足している ⑧ 住宅地供給が不足している ⑨ 住宅地供給が不足している ⑩ 住宅地供給が不足している	⑪ 町全体で人口増加率、人口増加率が低い ⑫ 町全体で人口増加率、人口増加率が低い ⑬ 町全体で人口増加率、人口増加率が低い ⑭ 町全体で人口増加率、人口増加率が低い ⑮ 町全体で人口増加率、人口増加率が低い ⑯ 町全体で人口増加率、人口増加率が低い ⑰ 町全体で人口増加率、人口増加率が低い ⑱ 町全体で人口増加率、人口増加率が低い
まちづくりの『課題分類』 住まいづくり…住環境対応や空き家対策等について 活力づくり…地域産業の活性化等について 安心・安全づくり…災害リスクの対策について	移動環境づくり…公共交通や道路整備について 魅力づくり…地域の特色を活かした魅力について 持続可能な都市経営…行政コストについて

【今回】第2回都市計画審議会

住民アンケート（速報）による課題整理（仮）

今後実施する中高生アンケートにより、若者の意見を反映する

「現況＋上位関連計画」の課題を踏まえて

全体構想（仮）

⇒都市計画マスタープランにおける「基本理念・基本目標・将来都市構造・まちづくりの方針」を設定する

➡社会経済情勢の変化等に対応した見直し・検討や、まちづくりに関わる各分野の方針を設定

現段階における計画の方向性や内容等について協議・意見交換

2. 住民アンケート結果（速報）

(1) 調査目的

- 町民の生活実態や、生活環境等に対する満足度や今後の期待・意向等の把握

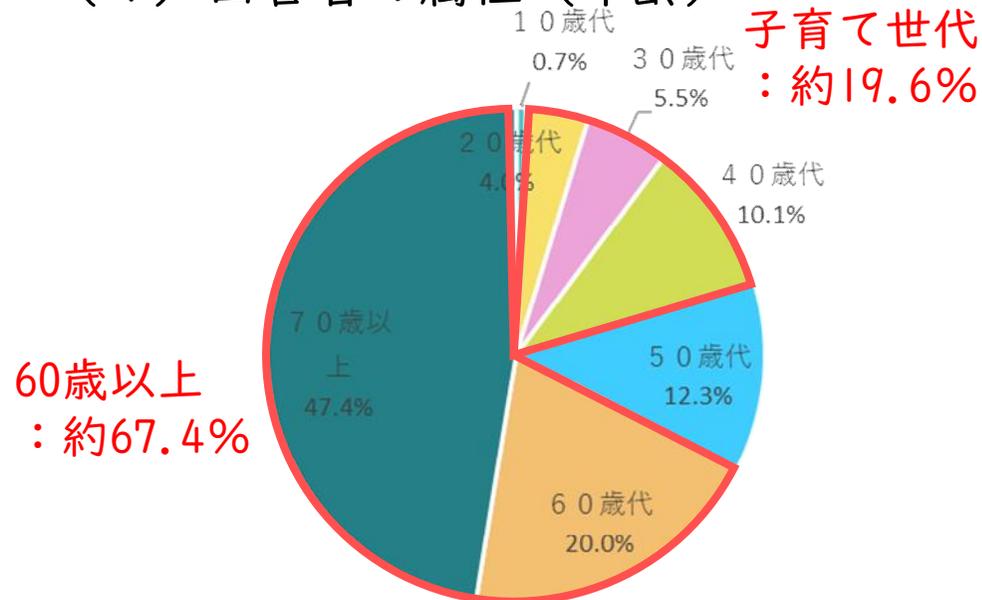
(2) 配布数/回収数

- 配布数：2,000部
- 回収数：897部（郵送：724部、WEB回収：173部）【回収率44.9%】

(3) 配布方法/回収方法

- 配布：郵送配布
- 回収：郵送回収【724部】
WEB回収【173部】

(4) 回答者の属性（年齢）



ご協力いただき
ありがとうございました

2. 住民アンケート結果（速報）

日常生活に必要な機能等

- 自家用車を使わずに行けるとよい施設は「店舗（食料品、日用品など）」が最多

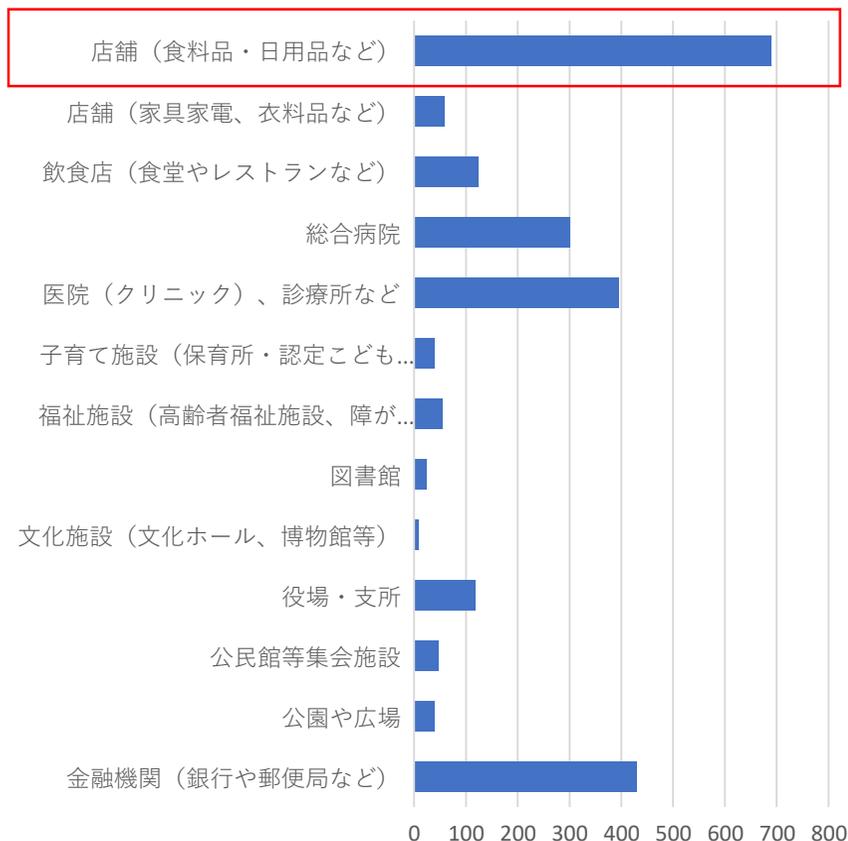


図 自家用車を使わずに行けると良い施設

➔ 身近に店舗（食料品、日用品）が求められている

店舗（食料品・日用品等）までの移動

- 交通手段は自家用車に依存
- 普段の移動時間は5分～15分が過半数
- 徒歩移動で許容する移動時間は5分～15分が過半数

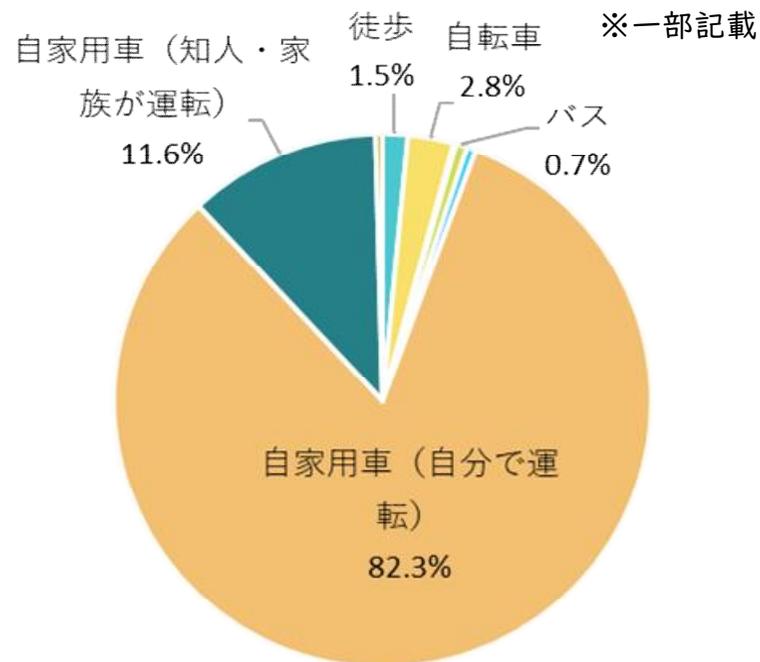


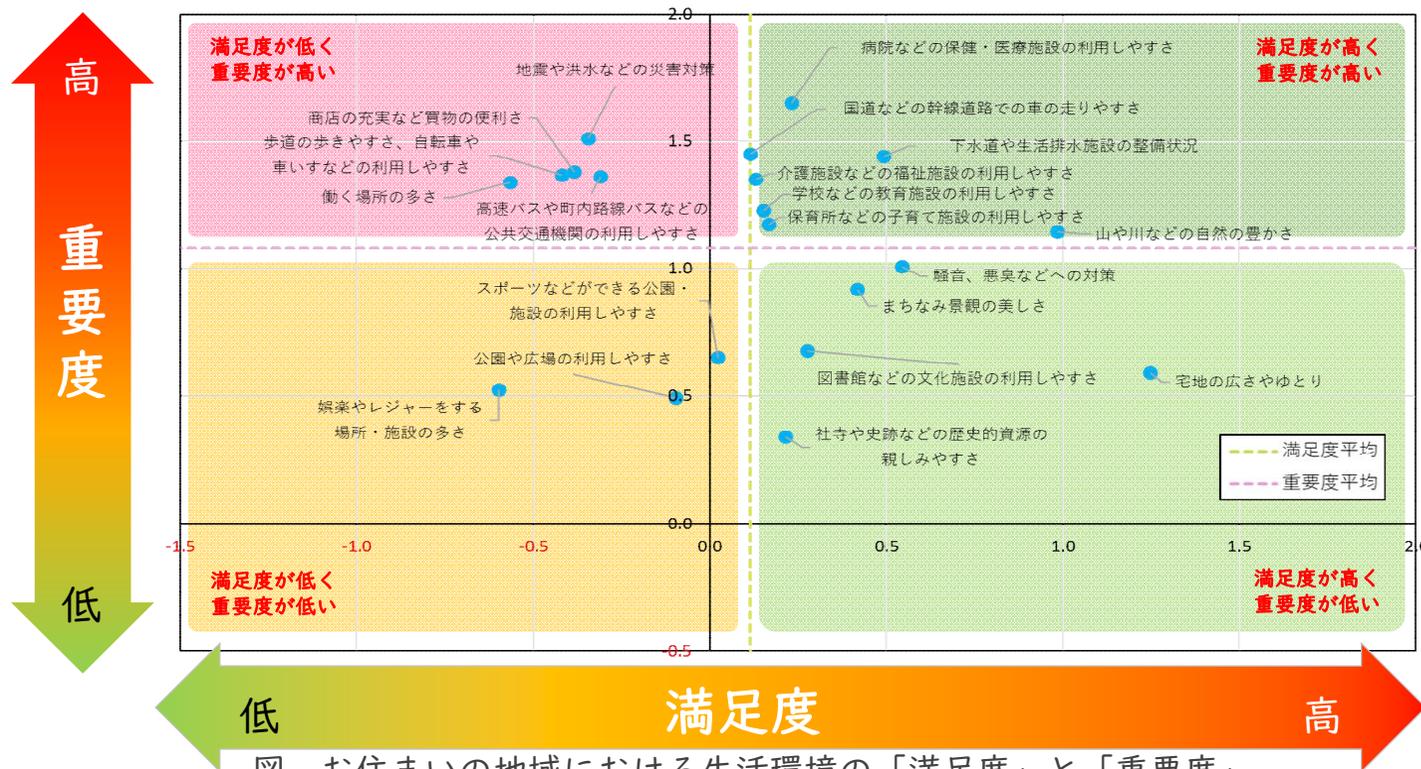
図 店舗（食料品、日用品等）を購入する際の交通手段

➔ 店舗等の身近な場所に必要な施設までの許容時間は5分～15分

2. 住民アンケート結果（速報）

生活環境の満足度と重要度

- 「働く場所の多さ」「商店の充実などの買い物の便利さ」「災害対策」「歩道・自転車・車いすの利便性」「公共交通機関の利便性」における満足度が低く、重要度が高い
- 「下水道や生活排水の整備状況」「国道などの幹線道路での車の走りやすさ」は満足度、重要度ともに高い



➡ 特に満足度が低く、重要度が高い項目については早期に改善が必要

2. 住民アンケート結果（速報）

まちへの思い・要望

- 現在の居住地域に「**これからも住み続けたい**」が65.2%と最多である
- 災害の危険性がある住宅立地に「**新築等の制限や移転を規制すべき**」が最多である
- 災害への対策として「**河川や排水路、堤防等の整備による洪水対策の推進**」を優先すべきが最多

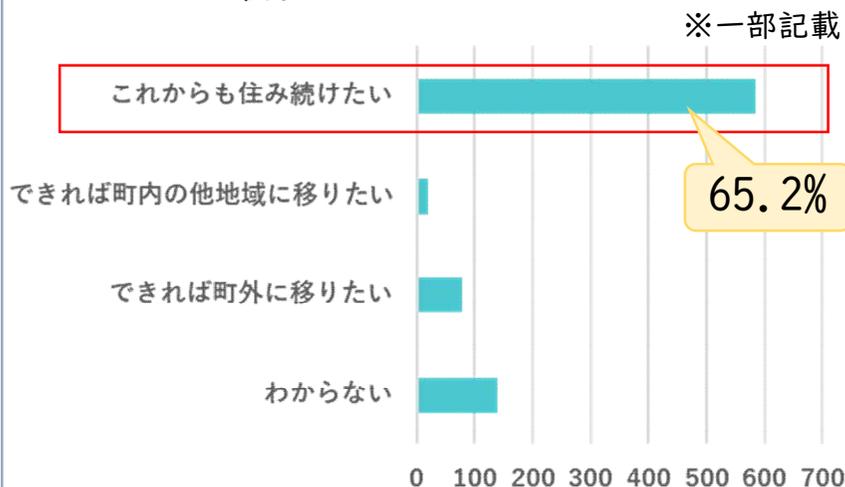


図 現在の居住地域に今後も住み続けたいか

➡ 住み慣れた地域で住み続けられるの取組
災害に対するハード・ソフト対策が必要

まちの拠点

- 町役場周辺の中心拠点において、「**医療・福祉**」が求められている
- 次いで「**商業施設**」が求められている
- 町役場の拠点以外にも、**地域の拠点**となるエリアが求められている

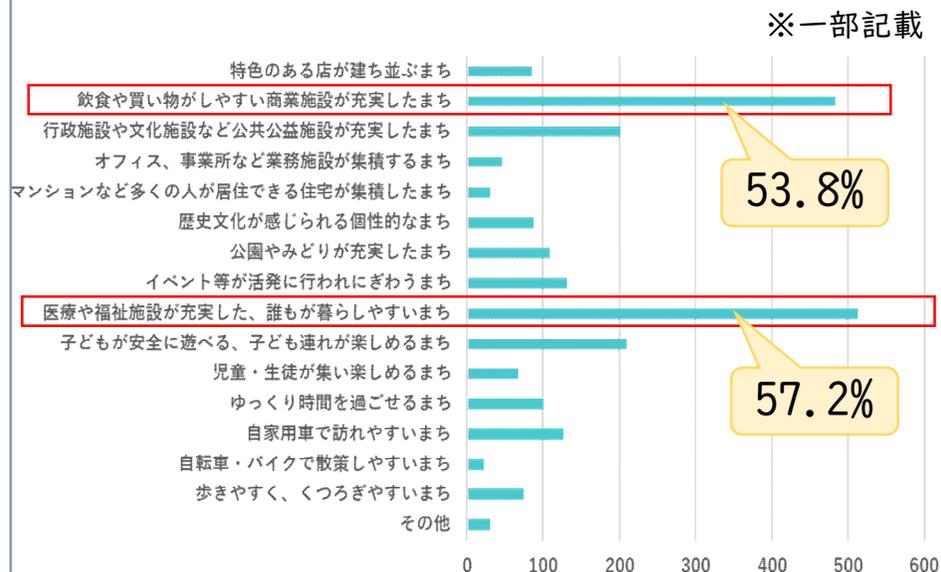


図 町役場周辺の中心拠点について、どのような姿が良いか

➡ 町役場周辺は特に医療・福祉が必要
地域の拠点となるエリアも必要

2. 住民アンケート結果（速報）

まちの将来像

- 北広島町の望ましい姿として「日常生活に必要な施設が身近にある暮らしやすいまち」が最多
- 次いで「保健・医療・福祉の充実」「防災面に対して安心感」も求められている

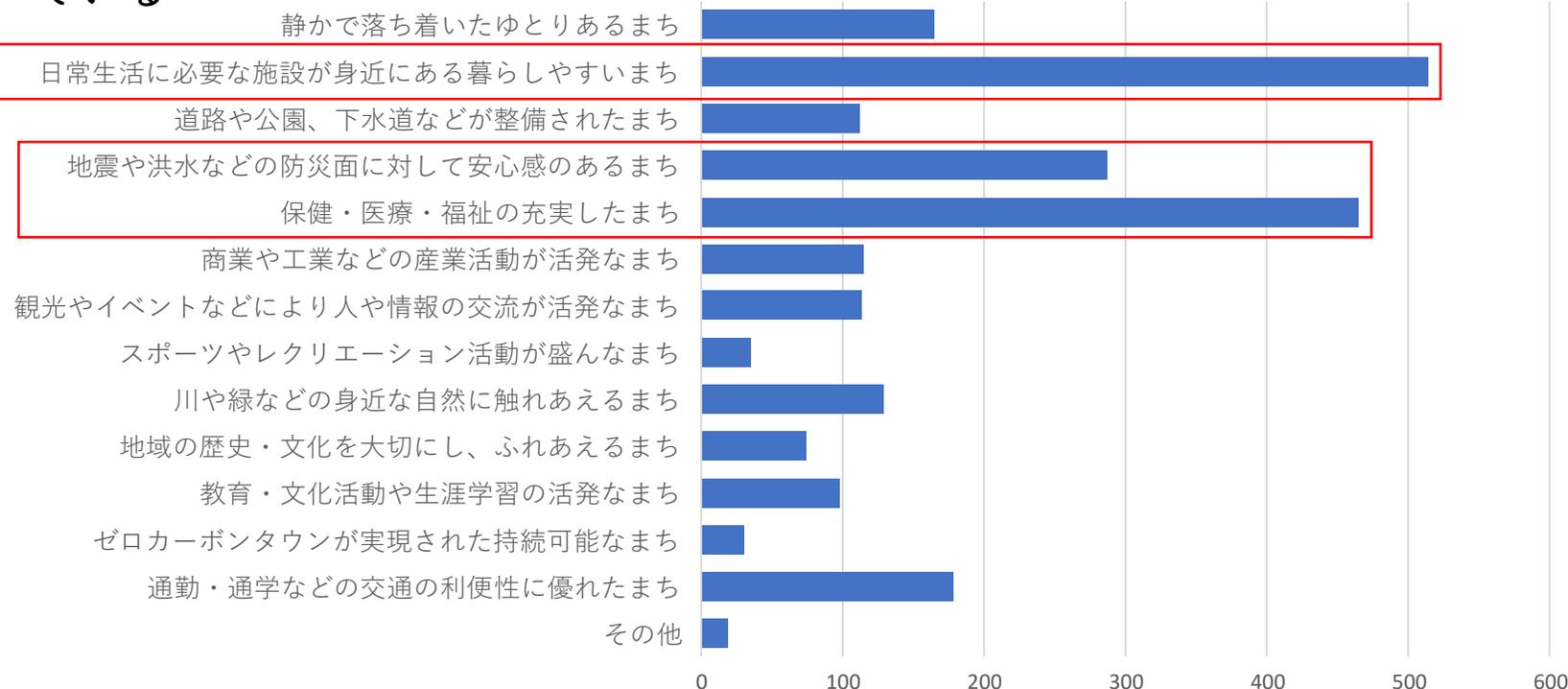


図 北広島町の望ましい姿

➡ 望ましいまちの将来像として、身近に日常生活に必要な施設（商店、保健、医療、福祉施設など）が立地しており、災害に強いまちづくりが求められている

2. 住民アンケート結果（速報）

■自由記述（求められていること）※一部記載

必要な施設

- 病院（小児科、耳鼻咽喉科、産婦人科等）
- 商業施設（スーパー、複合施設等）
- 飲食店（ファミリーレストラン、喫茶店等）
- 娯楽施設（カラオケ、温浴施設等）

交通手段の確保

- 路線バス（マイクロバス、通学バス）
- タクシー（乗合タクシー、ホープタクシー等）
- IoTを活用した公共交通（自動運転等）

北広島町の魅力を活かす

- 自然を活かす（美味しい水、サイクリング等）
- 人の豊かさ・優しさを活かした、転入者のコミュニティ形成
- 祭り（神楽等）やイベントを活かした観光業
- 生産物（野菜、米、畜産品等）の魅力発信

その他

- 工業団地へのさらなる新規企業の誘致や、農業における担い手確保
- 水道、下水道の整備や、ゴミステーションの適正配置による生活環境の整備
- 水害等の災害対策により、安心できる居住環境の整備
- 観光振興のためイメージキャラクターである花田舞太郎を町外へアピール

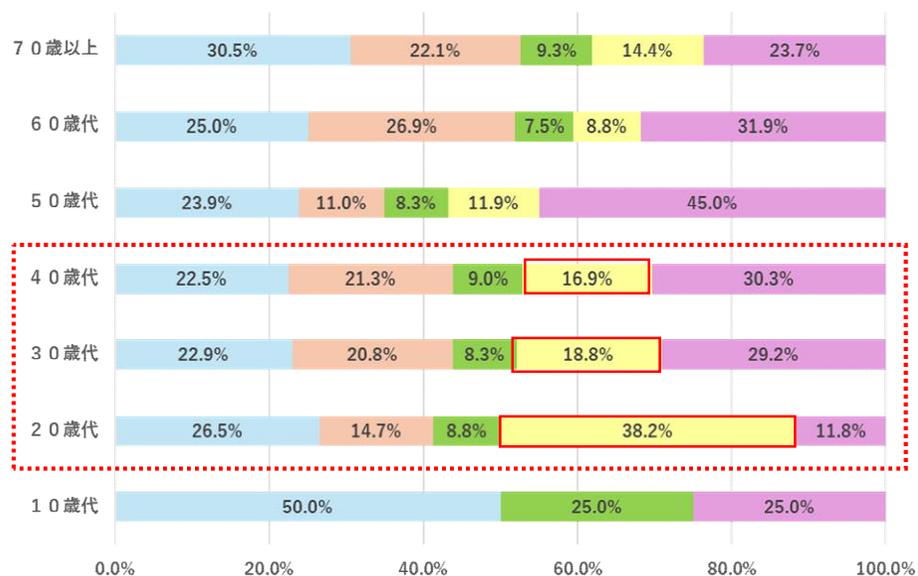
2. 住民アンケート結果（速報）

■ 高齢者（60代以上）と比較した子育て世代（20歳～40歳代）の特徴的な意見

将来の移動手段

約7割を占める

➤ 高齢者に比べて公共交通に対するニーズの回答割合が低い



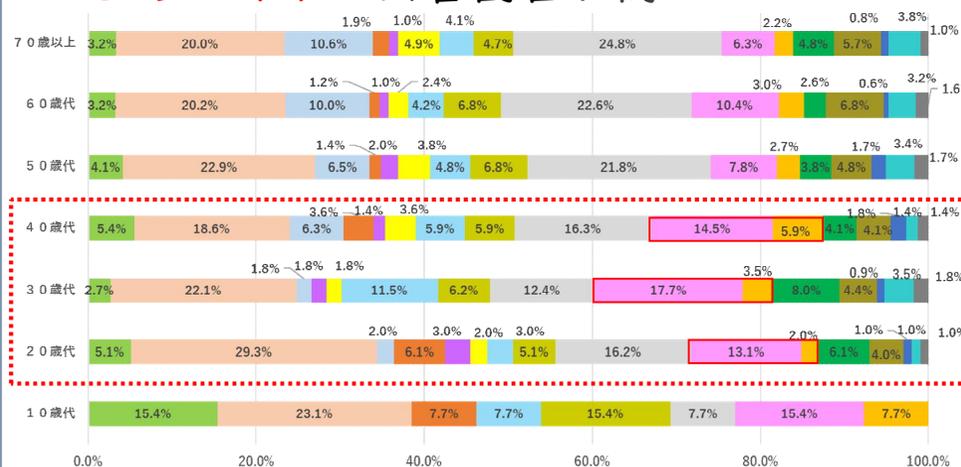
- バス等の公共交通は、他の町民サービスなど他の用途・目的に使う予算を減らしてでも現在の路線を維持すべき
- 乗車料金が低くてもよいので現在の路線を維持すべき
- 公共交通は多少減便（廃線）してもよいので現行の料金で利用したい
- 自家用車で移動するため公共交通は不要
- 新たなモビリティ（小型電動車等）を導入すべき

図 将来の移動手段としての公共交通の考え方について

➔ 子育て世代は公共交通に対するニーズが低い

まちの拠点

➤ 高齢者に比べて子どもに着目したまちづくりの回答割合が高い



- 特色のある店が建ち並ぶまち
- 飲食や買い物しやすい商業施設が充実したまち
- 行政施設や文化施設など公共施設が充実したまち
- オフィス、事業所など業務施設が集積するまち
- マンションなど多くの人が居住できる住宅が集積したまち
- 歴史文化が感じられる個性的なまち
- 公園やみどりが充実したまち
- イベント等が活発に行われにぎわうまち
- 医療や福祉施設が充実した、誰もが暮らしやすいまち
- 子どもが安全に遊べる、子ども連れが楽しめるまち
- 児童・生徒が集い楽しめるまち
- ゆったり時間を過ごせるまち
- 自家用車で訪れやすいまち
- 自転車・バイクで散策しやすいまち
- 歩きやすく、くつろぎやすいまち
- その他

図 町役場周辺を中心拠点について、どのような姿が良いか

➔ 子育て世代は子育てしやすいまちづくりを必要としている

2. 住民アンケート結果（速報）

■ 高齢者（60代以上）と比較した子育て世代（20歳～40歳代）の特徴的な意見

まちへの思い・要望

約7割を占める

- 高齢者に比べて「できれば町外に移りたい」の回答割合が高い
- 高齢者に比べて災害の危険性がある住宅立地を規制・制限するべきでないの回答割合が高い
- 高齢者に比べて「ライフラインの強化・充実」の回答割合が高い

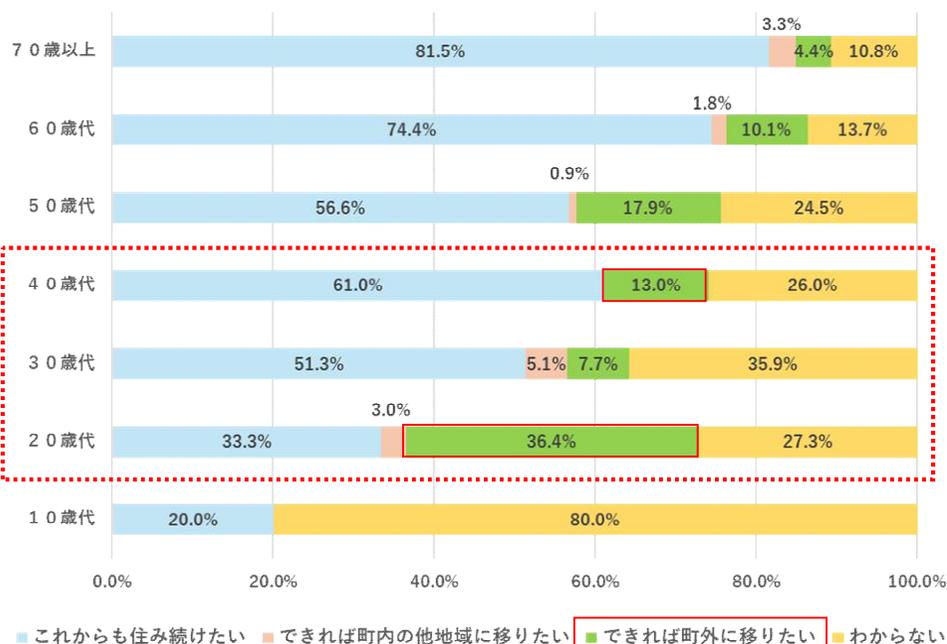


図 現在の居住地に今後も住みたいか



図 災害に対する安全なまちづくりにおいて優先すべき事

➡ 特に20代は町外へ移住したいと考えている

➡ 子育て世代は、安全なまちづくりに対してライフラインの強化・充実を求めている

2. 住民アンケート結果（速報）

視点ごとの住民アンケート課題（一覧）

住まいづくり

- これからも住み慣れた地域で暮らすために、**居住環境の整備**が必要
- 工業団地へのさらなる**新規企業誘致**や、**農業の担い手確保**が必要
- 外国人等の転入者に対する**コミュニティ形成促進**が必要
- 食料品、日用品等を扱う施設が、**5分～15分圏内**に必要
- 町役場周辺エリア**は特に**医療・福祉施設**が必要。次いで商業施設や飲食店が必要
- 水道、下水道の整備や、**ゴミステーション**の配置による**生活環境の整備**が必要

高齢者に比べた子育て世代の特徴的な意見

- 特に20代は**町外へ移住したい**と考えている
→「職場からの距離」を重要視している
- 子育て世代は**子育てしやすいまちづくり**を必要としている

移動環境づくり

- 歩道の歩きやすさ、**自転車や車いす**における**バリアフリー化**が必要
- 路線バス、タクシーの維持やIoTを活用した**交通手段の確保**が必要

高齢者に比べた子育て世代の特徴的な意見

- 子育て世代は**公共交通に対するニーズが低い**

活力づくり

- 町役場の拠点だけでなく、生活の中心となる**地域へ拠点が必要**

高齢者に比べた子育て世代の特徴的な意見

- 高齢者の意見と同じ傾向

魅力づくり

- 自然を活かした**、美味しい水やサイクリング等の**事業・イベントの促進**が必要
- 神楽や花田植**等の**民俗芸能の保全**が必要
- 生産物（野菜・米・畜産等）**の**魅力発信**が必要
- 観光振興のためイメージキャラクターである**花田舞太郎**を**町外へアピール**が必要

高齢者に比べた子育て世代の特徴的な意見

- 高齢者の意見と同じ傾向

安全・安心づくり

- 洪水対策として、河川や排水路、堤防等の**ハード対策**により、**安心できる住環境の整備**が必要
- 災害の危険性がある住宅立地に対して、**新築等の制限や移転を規制するソフト対策**が必要

高齢者に比べた子育て世代の特徴的な意見

- 子育て世代は**ライフラインの強化・充実**を求めている